住宅改修が必要な理由書　　（P1）

＜基本情報＞

利用者	被保険者番号		年齢	歳	生年月日	明治 大正　年　月　日 昭和	性別	□男 □女
	被保険者氏名		要介護認定 （該当に○）	要支援	要介護			
				１・２	１・２・３・４・５			
	住所							

作成者	現地確認日	令和　年　月　日	作成日	令和　年　月　日
	所属事業所			
	氏名			
	連絡先			

保険者	確認日	令和　年　月　日	評価欄	
	氏名			

＜総合的状況＞

		福祉用具の利用状況と 住宅改修後の想定	改修前	改修後
利用者の身体状況		●車いす	□	□
		●特殊寝台	□	□
		●床ずれ防止用具	□	□
		●体位変換器	□	□
		●手すり	□	□
介護状況		●スロープ	□	□
		●歩行器	□	□
		●歩行補助つえ	□	□
		●認知症老人徘徊感知機器	□	□
		●移動用リフト	□	□
		●腰掛便座	□	□
		●特殊尿器	□	□
		●入浴補助用具	□	□
		●簡易浴槽	□	□
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか		●その他		
		・＿＿＿＿＿＿＿＿	□	□
		・＿＿＿＿＿＿＿＿	□	□
		・＿＿＿＿＿＿＿＿	□	□

小田原市

住宅改修が必要な理由書　　（P2）

＜P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。＞

活動	①改善をしようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況（‥なので ‥で困っている）を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針（‥することで ‥が改善できる）を記入してください		④ 改修項目（改修箇所）
排泄	□ トイレまでの移動 □ トイレ出入口の出入（扉の開閉を含む） □ 便座からの立ち座り（移乗を含む） □ 衣服の着脱 □ 排泄時の姿勢保持 □ 後始末 □ その他（　　）		□ できなかったことをできるようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他（　　）		□ 手すりの取付け （　　） （　　） （　　） （　　） （　　） □ 段差の解消 （　　） （　　） （　　）
入浴	□ 浴室までの移動 □ 衣服の着脱 □ 浴室出入口の出入（扉の開閉を含む） □ 浴室内での移動（立ち座りを含む） □ 洗い場での姿勢保持（洗体・洗髪を含む） □ 浴槽の出入（立ち座りを含む） □ 浴槽内での姿勢保持 □ その他（　　）		□ できなかったことをできるようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他（　　）		
外出	□ 出入口までの屋内移動 □ 上がりかまちの昇降 □ 車いす等、装具の着脱 □ 履物の着脱 □ 出入口の出入（扉の開閉を含む） □ 出入口から敷地外までの屋外移動 □ その他（　　）		□ できなかったことをできるようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他（　　）		□ 引き戸等への扉の取替え （　　） （　　） □ 便器の取替え （　　） （　　）
その他の活動			□ できなかったことをできるようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他（		□ 滑り防止等のための床材の変更 （　　） （　　） □ その他 （　　） （　　） （　　）

小田原市

記載要領

住宅改修が必要な理由書　（P1）

＜基本情報＞

利用者	被保険者番号	0000123456	年齢	８３歳	生年月日	明治 大正10年10月10日 (昭和)	性別	■男 □女
	被保険者氏名	小田原　太郎	要介護認定（該当に○）	要支援	要介護			
				１・(2)	１・２・３・４・５			
	住所	小田原市荻窪３００番地						

作成者	現地確認日	令和　年　月　日	作成日	令和　年　月　日
	所属事業所	○○○○○○○		
	氏名	○○　○○		
	連絡先			

保険者	確認日	令和　年　月　日	評価欄	
	氏名			

福祉用具の利用状況と、改修後想定される福祉用具に"レ点"でチェックしてください。

＜総合的状況＞

利用者の身体状況	立ち上がりやバランスの保持、移動といった生活動作に関する身体状況を記述してください。 屋内外の移動方法（つかまらないで歩ける・つえや歩行器利用・車いす介助など）を記述してください。
介護状況	各種介護サービスや家族の介護も含めた介護状況を記述してください。
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	利用者や家族が住宅改修によって現在の暮らしをどのように変えたいのか、あるいは継続していきたいのか、またその効果を記入してください。 具体的な改修方針や改修項目は「Ｐ２」に記入してください。

福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定	改修前	改修後
●車いす	□	□
●特殊寝台	□	□
●床ずれ防止用具	□	□
●体位変換器	□	□
●手すり	□	□
●スロープ	□	□
●歩行器	□	□
●歩行補助つえ	□	□
●認知症老人徘徊感知機器	□	□
●移動用リフト	□	□
●腰掛便座	□	□
●特殊尿器	□	□
●入浴補助用具	□	□
●簡易浴槽	□	□
●その他		
・＿＿＿＿＿＿	□	□
・＿＿＿＿＿＿	□	□
	□	□

小田原市

記載要領

住宅改修が必要な理由書　　（P2）

＜P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。＞

小田原市